

# 平成28年度 定期作況報告

(8月20日現在)

北海道立総合研究機構  
農業研究本部畜産試験場

# I 気象概況

畜試場内マメダスの雨量計の異常により、7月下旬および8月上旬の降水量、降水日数およびそれぞれの平年値は新得町アメダスの値で代用した。機器修繕が完了した8月中旬からは畜試場内マメダスの値を用いた。

7月下旬：平均気温は16.5℃で平年よりやや低かった。降水量は126.5mm(平年比224%)でかなり多く、日照時間は3.9時間(平年比10%)でかなり少なかった。

8月上旬：平均気温は20.8℃で平年並であった。降水量は13.5mm(平年比31%)でやや少なく、日照時間は62.4時間(平年比144%)でかなり多かった。

8月中旬：平均気温は19.6℃で平年並であった。降水量は165.0mm(平年比191%)でかなり多く、日照時間は28.3時間(平年比79%)でやや少なかった。

以上のことから、本期間は平年と比較して気温は平年並、降水量はかなり多く、日照時間はやや少なかった。

	7月下旬			8月上旬			8月中旬		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温(℃)	16.5	18.4	△1.9	20.8	20.3	0.5	19.6	19.5	0.1
最高気温(℃)	18.9	22.5	△3.6	26.1	24.9	1.2	23.3	23.6	△0.3
最低気温(℃)	14.6	14.7	△0.1	16.0	16.2	△0.2	16.5	15.8	0.7
降水量(mm)	126.5	56.5	70.0	13.5	43.5	△30.0	165.0	86.3	78.7
降水日数(日)	8	4.7	3.3	2	3.7	△1.7	6	5.1	0.9
日照時間(時間)	3.9	37.4	△33.5	62.4	43.3	19.1	28.3	35.9	△7.6

注1. 各数値は旬の平均または合計。△印は減を示す。

注2. 畜試場内マメダス雨量計の異常のため、7月下旬及び8月上旬の降水量、降水日数及びその平年値はアメダス新得町の値を用いた。平年値は前10か年の平均値。

## Ⅱ 作 況

### 1. 牧草 採草型チモシー

2 番草作況：平年並

3 番草作況：不 良

事由：

< 2 番草 >

収穫時草丈は平年に比べて2年目草地在1cm低く、3年目草地在10cm高かった。2番草乾物収量の対平年比は2年目草地在85%、3年目草地在111%であり、利用年数によって傾向が異なったが、両草地の平均は98%と平年並であった。

以上より、2番草の作況は平年並である。

< 3 番草 >

8月20日現在の草丈は2年目草地在9cm、3年目草地在10cm低かった。

以上より、3番草の目下の作況は不良である。

調査項目：

	2 年 目 草 地			3 年 目 草 地		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
2 番草収穫日 (月・日)	8. 3	8. 4	△ 1	8. 3	8. 4	△ 1
生育日数	49	50	△ 1	49	50	△ 1
収穫時草丈 (cm)	88	89	△ 1	90	80	10
生草収量 (kg/10a)	986	1,097	△ 111	1,306	972	334
乾物率 (%)	19.5	20.7	△ 1.2	18.7	22.6	△ 3.9
乾物収量 (kg/10a)	192.2	226.5	△ 34.3	244.5	220.4	24.1
同上平年比 (%)	85	100	△ 15	111	100	11
-----						
1～2番草通算						
乾物収量 (kg/10a)	889.7	855.0	34.7	873.2	844.1	29.1
同上平年比 (%)	104	100	4	103	100	3
-----						
3 番草草丈(8月20日・cm)	27	36	△ 9	25	35	△ 10

注 1) 平年値は前7カ年のうち、平成23年(最豊年)及び平成22年(最凶年)を除いた5カ年平均値。

2) △は減または早を示す。以下の表も同じ。

## 2. サイレージ用とうもろこし

作況：やや不良

事由：本年の雄穂開花期、絹糸抽出期はいずれも8月7日で、雄穂開花期は平年より6日、絹糸抽出期は7日遅く、いずれも平年値の標準偏差を超える遅れであった。8月20日現在の葉数は15.9枚で平年より0.2枚少なく、稈長は232cmで対平年差は-37cmであり、いずれも平年値の標準偏差を超えて下回った。以上のことから、目下の作況はやや不良である。

調査項目：

	本年	平年	比較
雄穂開花期（月・日）	8. 7	8. 1	6
絹糸抽出期（月・日）	8. 7	7. 31	7
稈長（cm）	232	269	△ 37
葉数（枚）	15. 9	16. 1	△ 0. 2

注 1) 平年値は前7カ年のうち、平成26年(最豊年)及び平成21年(最凶年)を除いた5カ年平均値。

注 2) 供試品種は「チベリウス」。